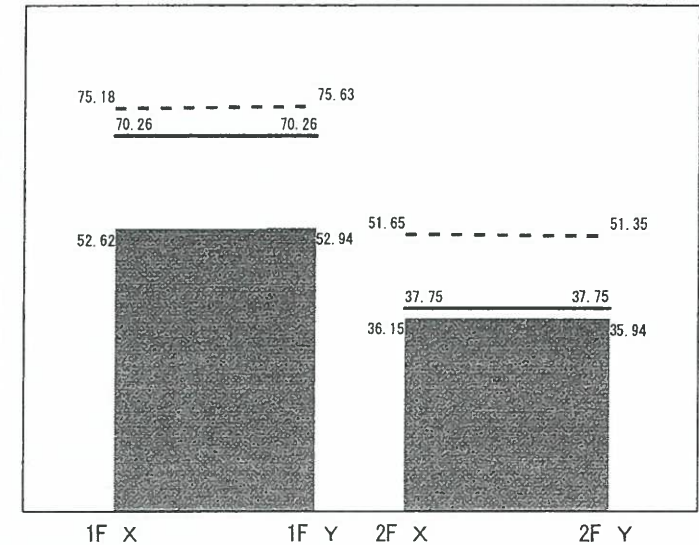


# 総合評価

## あなたの家の強さ(保有・必要耐力)

単位: kN  
P 必要耐力 ——— 強さ - - - - 保有耐力



### ◆建物概要

建物名称	サンプル 様邸				
建築地		建物階数	2		
備考		診断の方法	方法 1		
構法	在来軸組構法	低減係数E	偏心率		
1階構造種別	木造	診断者			
外壁材種	モルタル塗り壁	竣工年月	1973年1月(昭和48年)		
外壁材耐力	1.6(kN/m)	築年数	築10年以上		
基礎仕様	無筋コンクリート	建物重量	重い		
柱頭柱脚接合部	II 羽子板ボルト、山形プレートVP、かど金物CP-T等	混構造割増係数	1.0		
必要耐力計算法	精算法(各階の床面積比を考慮した方法)	積雪	0.0		
床仕様	II 火打ち+荒板	地域係数Z	1.0		
床面積	2階	71.22㎡ (21.54坪)	形状割増	2階	6m以上
	1階	83.64㎡ (25.30坪)	短辺の長さ	1階	6m以上

### ■上部構造の評価

階	方向	強さ P (kN)	配置 E	劣化度 D	保有耐力 Pd=PxExD (kN)	必要耐力 Or (kN)	評点 Pd/Or	判定
2F	X	51.65	1.00	0.70	36.15	37.75	0.95	倒壊する可能性がある △
	Y	51.35	1.00	0.70	35.94	37.75	0.95	倒壊する可能性がある △
1F	X	75.18	1.00	0.70	52.62	70.26	0.74	倒壊する可能性がある △
	Y	75.63	1.00	0.70	52.94	70.26	0.75	倒壊する可能性がある △

上部構造評点のうち最低の値	評点	判定
0.74	1.5以上	◎ 倒壊しない
	1.0以上~1.5未満	○ 一応倒壊しない
	0.7以上~1.0未満	△ 倒壊する可能性がある
	0.7未満	× 倒壊する可能性が高い

### 注意事項: 地盤・基礎

地盤・地形・基礎	対策	注意事項
地盤: 普通		
地形: がけ地・急斜面	コンクリート擁壁	擁壁が崩れると、建物直下の地盤が崩壊する可能性があります。
基礎: 無筋コンクリート	ひび割れが生じている	ひび割れが発生している場合、内部の鉄筋が錆びて、コンクリートを壊す可能性があります。

サンプル様邸

診断書作成日時:

Ver. 3.1.0.2

物件コード:

現状 0.74

本書は、国土交通省住宅局建築指導課監修、(財)日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。